



厳冬の候、寒さが身に染みる季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解を賜りありがとうございます。ICT通信も今号で今年度最終号となります。来年度もICT環境の整備を進めて参ります。前号では、スマートスクール端末やApple TVなどのICT機器や、クイズアプリを活用した授業などを活用した授業についてご紹介しました。今号では教育用ICT機器、図書システム、GIGAスクール端末のアプリや、学習アプリのMake Itを使用した授業をご紹介します。

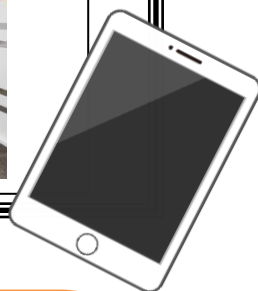


ICT機器の紹介

今号では、本校に配備されている教育用ICT機器をご紹介します。

教員が指導用として使用したり、高等部の情報の授業でパソコン室で使用したりする「教育用パソコン」があります。ノート型パソコンで、生徒用に22台、教員が指導用に使用する17台、合わせて39台が本校に配備されています。

その他にも生徒の学習用、教員の指導用として使用するタブレット端末(iPad)が42台配備されています。タブレット端末は、キーボードがついていないタイプになります。小中学部の児童・生徒へ貸与されているGIGA端末や高等部1.2年生のスマートスクール端末には、キーボードが付属しています。職員室内の充電できる保管庫で管理されています。



ICT機器の紹介

今年度から本格導入された「図書システム」をご紹介します。

本校では「LS@SCHOOL」を使用しており、ホーム画面は「キャベツくん」などの絵本でおなじみの長新太さんによるデザインとなっております。

導入前は、児童・生徒が自分の名前と図書名を貸出簿に書いていましたが、導入後は図書に付けたバーコードで、読み取り処理が可能になりました。貸し出し利用が行いやすく、1番貸し出しされている本などが一目で分かる仕様になりました。

実際に使用してみて、バーコードを読み込ませるだけで、貸し出しや返却ができるので、時間が短縮され、図書を選ぶ時間にゆとりができました。





ICT機器の活用

小中学部では、GIGA端末にあるアプリ「ポータル」に入っているアプリをダウンロードして、授業や個別学習、休み時間などで活用しています。1月31日現在で、150ものアプリがダウンロードできるようになっています。

中学部1年生では「タブレットデー」として、学年で使用するルール、使用できる時間帯や曜日を決めて活用しています。生徒は、好きな歌などを動画で見たり、学習アプリで文字や計算、ぬり絵などを学習したり、個々に応じて活用しています。

「ポータルアプリ」



「漢字アプリ」



「ぬり絵アプリ」



ICT機器の活用

中学部国語の授業では、学習アプリのMake Itを使用して、教員が作成した問題を生徒に共有し学習しています。物語の学習では、その物語に出てくる漢字の読み方やイラストとのマッチングを授業の中で行い生徒が回答しています。生徒は自分のペースで問題に答えることができ、サウンドが鳴ったり、正解するまで回答できたりすることで、生徒が主体的に学習することが増えました。

「Make It」

